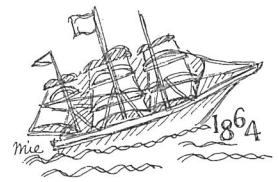
DOSHISHA REPORT



法人部

●第25回東京新島講座　10月23日

第25回東京新島講座公開講演会が、同志社大学東京アカデミーにおいて開催された。今回は真山達志大学政策学部教授と中井晨大学言語文化教育研究センター教授が、それぞれ「ガバメントからガバナンスへ―「構造改革」は進んでいるのか―」「戦前の英語文化事情」の演題で講演され、約70人が参加した。

●2004年秋の叙勲・叙位

同志社女子大学名誉教授小田幸信氏が瑞宝中綬章を受章され、11月10日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●創立記念行事

リユニオン　11月7日　10時　今出川キャンパス

創立記念礼拝　11月28日　10時30分　同志社栄光館

早天祈祷会　11月29日　7時　若王子山頂

創立129周年記念式　11月29日　9時　大学神学館礼拝堂

大学

●文部科学省「平成16年度大学教育改革の支援事業」に採択されたプログラム

大学の意欲的な教育改革が評価され、文部科学省の2004年度大学改革支援事業に単独で4件、共同で2件のプログラムが採択された。

前号で紹介した「特色ある教育支援プログラム」（特色GP）2件（単独と共同）に続き、「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）に「プロジェクト主義教育による人材育成―『プロデュース・テクノロジー』の創成―」が採択された。（本文38頁参照）

さらに、「法科大学院等専門職大学院支援形成プログラム」では、司法研究科（ロースクール）で単独の「国際的視野と判断力を持つ法律家の養成」と共同1件、ビジネス研究科で単独の「DBS地域連携事業推進プロジェクト」が採択された。

●NPO同志社大学産官学連携支援ネットワークが設立される

11月7日、上村良次近畿経済産業局地域経済部次長、高橋信雄関西経済連合会常務理事らの出席をえて、設立記念の会が開催された。NPO理事長の八田英二学長の挨拶に続いて、和田元リエゾンオフィス所長は、「大学の産官学連携の基盤は整いつつある。学生や卒業生などと連携を深めながら、新たな起業サポートを行っていきたい」と抱負を述べた。

NPOの認可は10月25日で、個人50人、8団体の規模でスタートした（118号の特集記事28頁を参照）。

●大学ホームカミングデー2004開催

第5回目を迎えた「大学ホームカミングデー」が、11月7日に今出川、室町両校地を主会場に開催された。当日は秋晴れのもと、卒業生、退職・在職教職員のほか学生や一般市民も加わり、約3千人の参加者で大いに賑わった。

ホームカミングデーの風景（明徳館前）

同志社礼拝堂での開会式で始まったプログラムは、卒業生や現役学生が出演、催すものなど多彩で、参加者の多くは129年の伝統の中で育み、醸し出された同志社文化の良さを満喫されたに違いない。

●関西4大学学長フォーラム開催

11月13日、東京有楽町のよみうりホールで、関西4大学学長フォーラム「今、私立大学にできること―『関西からの提言』」が開催された（4大学主催、読売新聞社共催）。

八田英二大学長のほか河田悌一関西大学長、平松一夫関西学院大学長、長田豊臣立命館大学長の4学長が一同に集い、首都圏での4大学の存在をアピールすることを目的に企画された。

フォーラムは、映画監督の大森一樹氏と評論家の大宅映子氏の基調講演に続き、両氏と4大学長によるパネルディスカッションが行われ、京都・大阪・神戸の3都と学生の関わりや学生文化論、教育研究への取り組みなどについて、約800人の聴衆に熱っぽく語りかけた。

●JR同志社前駅の本格的改修工事が進捗

ラッシュ時の混雑解消と玄関口としての駅前整備を図るJR同志社前駅の改修工事が、昨年7月に始まり、本年1月には新駅舎部分の工事が完了した。

同志社前駅は、大学田辺キャンパスの開校に合わせて1986年に開業した。1日7千人～8千人が利用しているが、ホーム幅が狭いうえ、改札口が少なく、駅の改善は長年の懸案となっていた。

トイレ新築およびホーム拡幅工事などを含め、年度内の3月末にはすべての工事が完了する見込み。

女子大学

●女子大学地区別懇談会

6月12日／松山、6月19日／名古屋、7月11日／博多において、地区別懇談会を開催した。2002年度より全国各地で、卒業生と栄光会との絆を強め、女子大学の教育方針や取り組みに対する理解

を得るため、女子大学主催、女子大学栄光会・女子大学Vineの会協賛で行われている。当日は各会場70～90人が参加し、同志社女子大学冷泉為人客員教授による「冷泉家の歴史と文化」と題した講演を行った後、懇親会において教職員と卒業生（含むVineの会会員）および栄光会会員などが交流を深め、盛況のうちに終了した。

●秋季リトリート　10月30・31日

同志社びわこリトリートセンターで行われた。

（財）アジア協会アジア友の会事務局長で日本基督教団寝屋川教会牧師の村上公彦氏を講師にむかえ、「一滴の水より～より豊かな人間社会の建設に向けて」と題して講演いただいた。飲料水の欠乏が深刻なアジア各国に井戸を贈るNGO活動を通して、より人間らしい地球社会の創造をめざし、共に分かち合い、助け合うことが重要であることを学んだ。また、グループ・トーキングや全体会を通して、参加者は交流を深め1泊2日の有意義な時間を過ごした。

●女子大学薬学部開設記念シンポジウム

―変わりゆく薬剤師像を求めて―

本学主催、読売新聞大阪本社後援による標記シンポジウムを10月23日、MIDシアターで開催した。

医学博士で登山家の今井通子氏の基調講演「健康な毎日を送るために―薬との上手な付き合い方」に続いて「これからの薬剤師に求められるもの」をテーマにパネルディスカッションを行い、活躍の場が広がる薬剤師の課題などについて討議が交わされた。

パネリスト…今井氏、児玉孝氏（大阪府薬剤師会会長）、立川幸治氏（名古屋大学医学部附属病院医療経営管理部教授）、森田邦彦氏（慶應義塾大学医学部薬剤部助教授）

コーディネーター…南砂氏（読売新聞東京本社編集局解説部次長・薬剤師問題検討会委員）

●女子大学卒業生の集い2004

女子大学と女子大学Vineの会共催、女子大学各学会協賛による卒業生の集いを、11月14日、今出川キャンパスで開催した。

当日は、栄光館ファウラーチャペルにおいて女子大学Vineの会総会・女子大学井原秀人助教授によるヴォーカルコンサートが行われ、その後引き続いて竣工90周年となるジェームズ館でティーパーティーを開催した。訪れた卒業生および教職員約300人は、旧交を温め、発展を続ける母校での充実したひと時を過ごした。

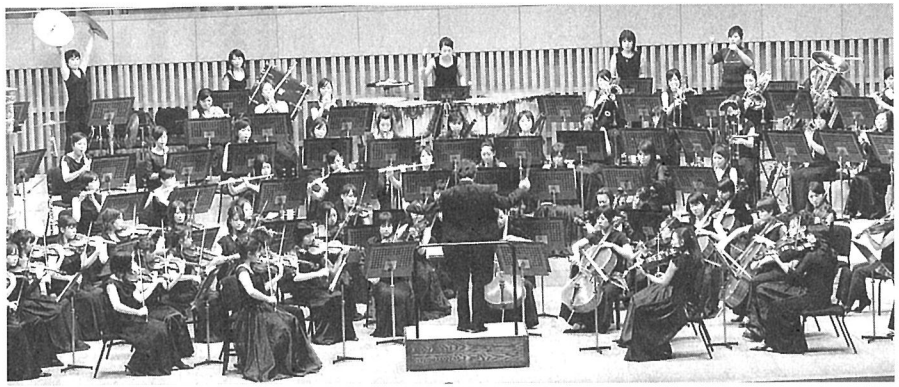
●シェイクスピア・プロダクション公演

Macbeth

学芸学部英語英文学科3、4年次の2年間にわたりシェイクスピアの作品を研究し、4年次の秋に授業の一環として英語による上演を行っている。台本、字幕、衣装、大道具、照明、演出、キャスト等すべて学生の手によって行われ、第54回目を迎える今年度は、11月12・13日、新島記念講堂において*Macbeth*（『マクベス』）を上演。学内外から2日間で約1400人もの観客が来場し、公演は成功を収めた。

●音楽学科定期演奏会

12月11日、京都コンサートホール大ホールで、第34回定期演奏会を開催。音楽学科合唱団による、小島千絵子／ミサ・ブレヴィス、高嶋みどり／女声合唱とピアノのための「女の肖像」、音楽学科管弦楽団によるJ・ブラームス／悲劇的序曲Op.81、D・ショスタコーヴィチ／交響曲第5番ニ短調Op.47を演奏。多数の来聴者を迎え、好評を得た。



京都コンサートホールでの定期演奏会

高等学校

●ウェスリーカレッジ（メルボルン）

交換留学生受け入れ（9人）　9月17日～10月2日

●岩倉祭

体育祭9月30日

クラス（2年）・クラブ発表　10月2日

クラス（1年）・クラブ発表　10月3日

演劇祭（3年）　10月4日

●同志社中学入試説明会

（保護者・受験生対象）　10月16日

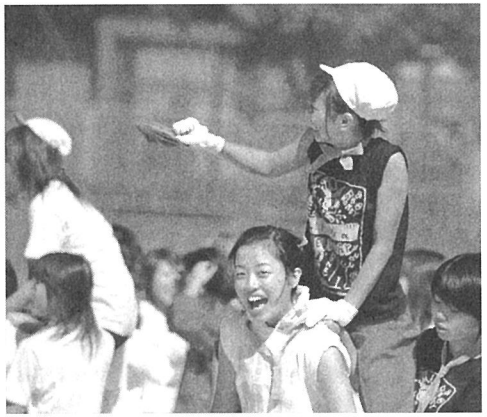
●他中学進学説明会

（保護者対象）　10月30日

●人権学習　10月26日

3年生

講演を聞いた後、感想文提出。



「働くこと・生きること」

壁谷俊則氏

（前エイテック関西事務局長）

「イラク戦争と日本」

豊田　護氏（ジャーナリスト）

「ハンセン病問題・『病』ゆえに奪われた人権・回復者たちの人間回復への道のり、そして今」

大井陽子氏

（ハンセン病回復者とともに歩む関西連絡会会員）

2年生
映画「アイ・ラヴ・ピース」を鑑賞し、感想文提出。
1年生
アジア諸国から日本にきている留学生を各クラス2名ずつ招いて講演してもらい、交流の後感想文提出。

●**宗教週間**　11月1～5日
別表「同志社5中高『秋季宗教教育強調週間』日程表」のとおり、実施した。

●**秋のリトリート**　10月22・23日
講師　西村仁志氏
（環境共育事務所・カラーズ主宰）
「UNDER-STAND：『わかる』って『かわる』こと？」

●**クリスマス礼拝**　12月11日

●**岩倉キャンパス・クリスマス**
12月17日　高校チャペル

●**家庭クリスマス**　12月18日

●**止揚学園訪問**　12月14日

香里中高

●**高3インターンシップ**　夏休み
社会科藤井教諭が卒業生の協力を得て中学3年で「会社をつくろう」、高校1年で「環境NGO／NPOをつくろう」などのプロジェクト学習をしてきた学年が高3になり、今回初めて実施された。希望者が対象であったので、最終的には延40人が1～5日の期間で、15カ所で研修をした（詳細は本校PTA新聞143号を参照）。

●**文化祭**　9月25日
天変地異の多かった年としては、天気に恵まれ平穏であった。従来難しかった学級単位のまとまりが、ここ数年良くなり「つまようじアート」の展示、ミュージカル、映画などで力作が多かった。保護者も例年通りバザー、献米、お茶席で参加された。

●**生物部　最優秀・大阪市長賞を獲得**
（第48回大阪府学生科学賞）　10月22日
「クマゼミ・アブラゼミの研究Ⅲ」で受賞した。3年間にわたる努力が報いられた。本校内のセミの出現から消失までを、校外に出たセミも地域の小学生の協力を得て再捕獲し、研究したものである。

●**大阪私学デー**　10月23日
堺市民会館大ホール。私学助成削減、廃止の危機感からか例年より参加者が多く、本校からはPTAの本部・高3役員および教員が参加した。

●**中2修学旅行**　10月24～27日
函館へ行くのも3年目となった。関西とは異なった自然や歴史的な建造物を歩いて見られることは良いようで、また朝市で売り子体験をした生徒はドキドキしたけれど楽しかったそうだ。

●**高2修学旅行**　10月25～30日
例年と異なったプログラムが2つあった。希望者だけだったがハワイ島に行ったこと。同志社とゆかりのあるマキキ聖城キリスト教会で礼拝を持ったことである。ハワイ島へは日帰りであったので、朝4時30分に起きて火山活動の様子を目の当りに見て来た。聖城教会は写真のように外観は城である。これは高知出身で同志社の神学部を出た奥村牧師が高知城をモデルに教会堂を建てたからである。ここでの礼拝は、讃美歌も楽しい雰囲気で歌い、フラダンスもあり極めて新鮮な印象を受けた。ポリネシア文化センターでは、めったにない大雨に遭遇した。

マキキ聖域キリスト教会（1932年建設）

女子中高

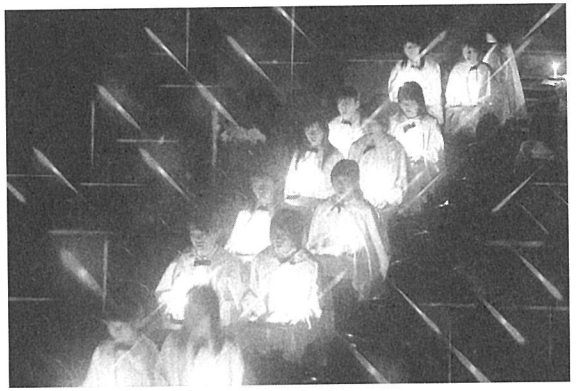
●**修養会**　9月4・5日
同志社びわこリトリートセンターで中学2年生から高校3年生の修養会が行われた。普段、時間に追われ、忙しく毎日を送っているが、たまにはゆっくり自分を見つめ、友と夢を語り合おうと集まった。中学生は講師に国際中高校教諭、中川好幸先生を迎え、「楽しい毎日を送るために」をテーマに、高校生は榎本てる子先生を講師に迎え、「輪―愛を探そう、君と僕」をテーマに語り合った。有意義な2日間であった。

●**体育祭**　9月28日
好天に恵まれ、徒競走、綱引き、仮装競演、応援合戦、プログラム最後のクラス対抗リレーに至るまで、活力ある展開がなされた。

●**文化祭**　9月30日～10月2日
3日間の日程で「fillies' fete」（おてんば娘のお祭り）をテーマとして開催された。おてんば娘の名の通り、非常に活発に合唱コンクールで熱唱し、中学1年生は通路にステンドグラスを飾り、中学2、3年生はクラスごとの展示、高校生は文化系クラブの発表、有志による展示、演奏等様々な分野で活動した。また2日には並行して、女子部のバザーが開催された。

●**収穫感謝礼拝**　11月18・19日
ハンドベルの演奏、聖歌隊の合唱による賛美礼拝を持ち、19日には、収穫物を持ち寄り、感謝の礼拝、午後に、寄せられた収穫物と献金を持って養護施設・老人ホームなどを訪問し、それぞれの場所で交流の時を持った。

●**クリスマスページェント**　12月17日
午前の部は生徒・教職員とで、午後の部は春日学区デイケアサービスの方々を招き、一般の方々と共にクリスマス礼拝


クリスマスページェント

を守った。生徒、教職員、礼拝に参加した一般の方々から寄せられた献金は、全国の福祉関係の施設、事業所に送られた。

国際中高

●文化祭　9月20～25日

本校の最大の行事になる、中学体育祭・高校体育祭・中高文化祭が盛大に行われました。応援合戦、マスゲーム、中3・高3による演劇発表、バンド祭など盛り沢山の内容を生徒たちは八面六臂の活躍で乗り切った。

自分たちで企画立案し、2つ3つの役職を兼務しそれぞれを完成度の高いイベントに作り上げていく生徒たちのパワーに圧倒された一週間だった。

また、新たに東大寺学園高等学校生徒会の学校訪問もあり、交流の場を持つこともできた。

●中3体験学習　10月8・9日

知多半島、南知多温泉郷で実施された。日常生活を離れさまざまな体験学習が予定されていたが、折しも台風の直撃に遭い、短縮したプログラムでの実施となった。

●人権強調週間　10月25～29日

高等学校では「同和問題」を、中学校では「人権の大切さ」をテーマに取り組んだ。生徒有志による人権委員を中心に、礼拝での発表、パネルディスカッション・ホームルームでのディスカッションなど、様々な角度から人権の大切さについて学んだ。

●秋季宗教週間　11月1～5日

外来講師の先生方による毎日の礼拝と2日の特別礼拝を通じて、同志社の根幹にあるキリスト教と日々生きる我々のあり方について深く学ぶ週間となった。

●読書週間　11月8～12日

本校の校長先生でいらっしゃった故土山登先生のご遺族から絵本350冊の御寄贈をいただき、「土山登先生記念文庫」のオープニングセレモニーが行われた。本校を愛し、力を尽くされた土山先生の思い出とともに、大切に守り育てていきたい。

●高校アドベント礼拝　11月17日

吹奏楽部・聖歌隊・高等学校3年生のSongs in English受講生、保護者のコーラスグループの協力のもと、アドベント礼拝が厳粛に行われた。

●国際交流関連

今年度も世界各国から多くの友人たちが本校を訪れ、生徒たちも海外研修へのチャレンジしてくれた。

・The NUEVA School Summer Camp

ホームステイしながら課外活動を中心とした活動に参加する中学生のプログラム。

・Ecole Active Bilingue Jeannine Manuelとの交換プログラム

フランスのパリ市内にある、フランス語と英語のバイリンガルで交流できるインターナショナルスクールとの交換プログラムが今年度より新たに加わった。2学期には相手校より10人の生徒がホームステイをしつつ、本校の生活を楽しんだ。

そのほか、アメリカニューヨーク州の先生方の学校訪問、韓国・釜一外国語高等学校の生徒たちの学校訪問、アメリカ・アラバマ州の生徒たちの学校訪問など、それぞれが有意義な交流となった。

バンド演奏を披露するエコールからの留学生諸君

中学校

●夏季キャンプ

1年生（全員参加）は7月22～30日にかけて4期、各期2泊3日で宮津市の本校由良キャンプサイトで海のキャンプを、また2年生（自由参加）は7月22日～8月2日にかけて4期、3泊4日の信州の唐松岳登山と栂池自然園を訪ねる山のキャンプを行った。参加した生徒たちは、天候にも恵まれ、海、山の自然を満喫していた。

●学園祭　9月29日～10月1日

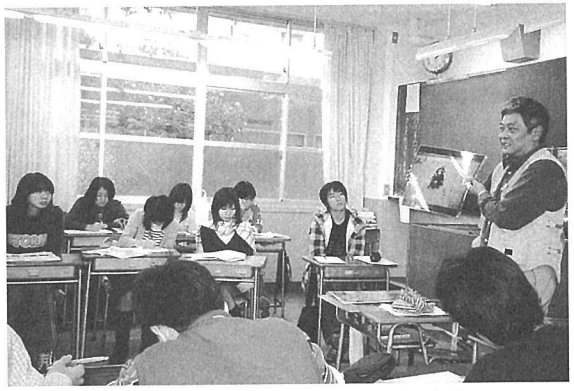
京都会館で2年生行事、演劇フェスティバルを2日間にわたり開催し、舞台発表を行った。どのクラス、クラブの発表にも熱がこもり、魅力ある舞台であった。また、最終日には学校で1年生の舞台発表や展示発表、生徒会行事が催された。フィナーレには、各分団が踊りのパフォーマンスを競う「踊る同中生」と「フォークダンス」等が行われ、熱い3日間に幕を閉じた。

●体育祭　10月7日

8分団がトラック種目や綱引き、棒倒し、騎馬戦、ムカデリレーで白熱したレースを繰り広げた。

●秋の宗教人権週間・人権行事　11月1～5日

秋の宗教人権週間では、別表「同志社5中高『秋季宗教教育強調週間』日程表」の講師のほか、浅井智久先生（わたむきの里福祉職員）、森岡美紀先生（同志社女子中高講師）、中川裕次先生（フォトグラファー）をお招きし礼拝奨励をしていただいた。また人権行事では例年にならって、映画鑑賞「夏休みのレモネード」の他、1年生ではブラインドリーディング体験、2年生では点字作業や、介助犬、車椅子体験、手話、ハングル講座、3年生では立命館平和ミュージアム、洛陽共同作業所の訪問、京都の人権ゆかりの地


カンボジアの現状について話をされる中川裕次さん

ツアーや大阪のコリアタウン訪問等に加え、写真家の中川裕次さんをお迎えしてカンボジアの現状についてのお話、折鶴親善大使の佐々木雅弘さん（原爆の子像のモデルになった佐々木禎子さんの兄）をお迎えしてお話を聞いたりするなどして、人権についての見識を深めた。

●**クリスマス礼拝・クリスマス燭火礼拝**
2学期終業式にクリスマス礼拝を全校で守った。夕刻にはチャペルでクリスマス燭火礼拝を行い、多くの参加者で賑わった。

●**スキーキャンプ**　12月23～27日
●**沖縄研修旅行**　12月23～26日
3年生（自由参加）は4泊5日で長野県志賀高原一の瀬スキー場でのスキーキャンプ、3泊4日で沖縄の平和学習を中心とした研修旅行を行い、それぞれに思い出に残る楽しい日々を過ごした。

幼稚園

●**年長じゃがいも堀り**　6月28日
年長児参加のじゃがいも堀り。

5中高秋季宗教教育強調週間

5中高は共同で春・秋季に宗教教育強調週間を設け、講師を招いての礼拝・奨励のほか、各校個別の行事を実施している。外来講師6人による秋季の奨励・礼拝は、次の日程で行われた。

2004年度　5中高『秋季宗教教育強調週間』日程表

	11月1日(月)	11月2日(火)	11月4日(木)	11月5日(金)
女子中高 中学	指方 牧師「何のために、何によって生きるか」	横田 牧師「『正しい』って?」	宮川 牧師「一粒の麦」	竹ケ原牧師「生きているなら変わるんだ」
女子中高 高校	金井 牧師「自分を映す鏡」	指方 牧師「何のために、何によって生きるか」	宮川 牧師「一粒の麦」	遠藤 牧師「ハカリを疑え」
香里中高 中学	ショート礼拝		金井 牧師「共に未来をつくるために」	
香里中高 高校		ショート礼拝	金井 牧師「平和をつくり出す人」	ショート礼拝
国際中高 中学	竹ケ原牧師「〝人〟と〝人間〟」	宮川 牧師「一粒の麦」	指方 牧師「何のために、何によって生きるか」	横田 牧師「『正しい』って?」
国際中高 高校	遠藤 牧師「体の言葉を聴く」	金井 牧師「イエス・ホームレス・キリスト」	横田 牧師「『正しい』って?」	宮川 牧師「ダビデのメール」
高等学校	横田 牧師「『正しい』って?」	宮川 牧師「ダビデのメール」	竹ケ原牧師「〝ら〟って言うな」	金井 牧師「原点となる体験」
中学校	宮川 牧師「ダビデのメール」	金井 牧師「愛することば」	遠藤 牧師「イエスのまなざし」	人権行事

講師紹介（敬称略）　遠藤勇司（京都・高の原教会牧師）、金井　創（明治学院牧師）、宮川経宣（岡山信愛教会牧師）、指方周平（京都・桂教会牧師）、竹ケ原政輝（丹波新生教会牧師）、横田明典（近江金田教会牧師）

●**7月お誕生日会**　7月2日
午前中は全園児がホールに集まり、クラスの歌の発表をしたり、午後は誕生日を迎えた園児とその保護者が園に集まり、教員も昼食を共にし、ケーキにろうそくを灯してお祝いをした。（毎月1回行われる）

●**お泊り保育**（年長組）　7月9～10日
年長組が園に泊まり、キャンプファイヤーや花火をし、楽しく過ごした。

●**お遊戯会**　7月18日
家族を迎え、クラスごとに歌やダンス、合奏、シロホン演奏などを発表した。

●**夏期保育**　8月2～5日
水遊び、色水遊び、フィンガーペインティグなどをして過ごした。

●**同窓会**　8月4日
午後から卒園生が集まり、近況報告をした後、ゲームをして、楽しく過ごした。

●**入園説明会**　9月4日
2005年度の入園説明会を寒梅館ハーディーホールで行った。

●**運動会**　9月23日
女子大テニスコートで、保護者も参加し共に競技やダンスを行った。

●**バザー**　10月2日
女子中高校内で、同窓会、女子中高と共にグッズ商品などを販売した。

●**入園考査**　10月9～11日
10月29・30日
11月6・7日
10月18日

●**秋の遠足**
全園児で矢橋帰帆島公園に出掛けた　11月13日

●**親子フェスタ**
幼稚園で持ち寄った品や模擬店などの販売をし、一日バザーを行った。

●**収穫感謝祭**　11月18日
●**親子親睦会**（琵琶湖博物館）　11月19日
●**お茶会**（年長組）　11月22日
年長組が、保護者を招いてお茶会を開いた。

●**上京こどもまつり**　11月23日
●**校祖墓参**　11月26日
年長組・年少組親子、年中組園児のみで新島襄先生の墓前に集まり、同志社教会牧師佐伯幸雄先生による礼拝をもった。

●**人づくり21世紀上京ふれあい祭り**　11月27日
●**チャリティーコンサート**　12月5日
京都いのちの電話主催のチャリティーコンサートに年中組・年長組の希望園児が聖歌隊として参加。

●**クリスマス会食**　12月10日
メニューはシチューとフルーツ、ゼリー。年長園児が調理をして、大鍋にシチューが完成。全園児で昼食の時を持った。

クリスマス会食での年長児のクッキングの様子

●**クリスマス礼拝**　12月17日
新島会館で全園児が揃って礼拝・ページェントをした。サンタクロースがやってきてお祝いもした。保護者も参加。